

# 福井県感染症発生動向調査速報

<<平成17年>>

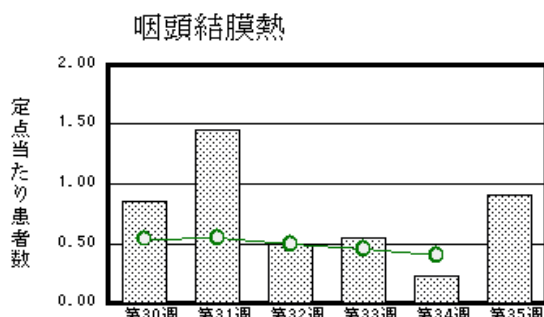
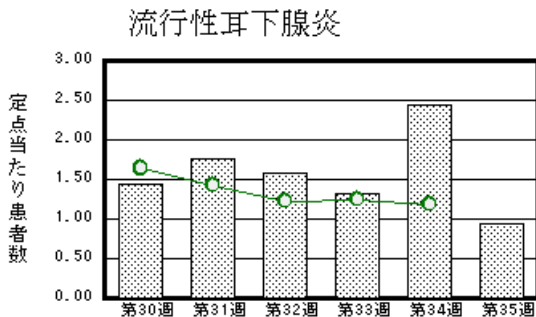
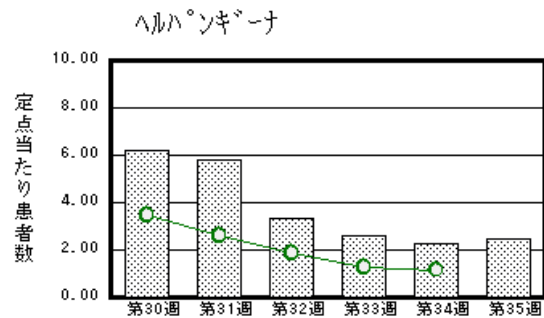
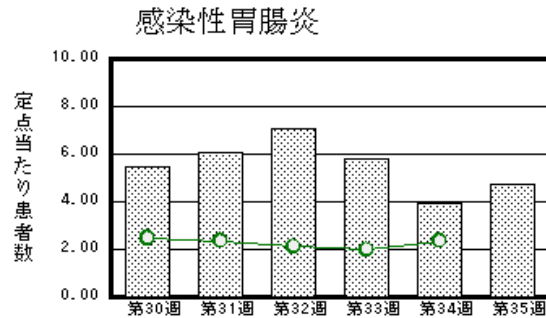
発行日：平成17年9月7日

<週報> 第35週 (平成17年8月29日～9月4日)

発行：福井県健康福祉部健康増進課  
福井県衛生環境研究センター  
kansen@erc.pref.fukui.jp

## 注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎104名(4.73名) ヘルパンギーナ55名(2.5名) 流行性耳下腺炎21名(0.95名) 咽頭結膜熱20名(0.91名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・突発性発疹16名(0.73名) ( )内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(104名) ヘルパンギーナ(55名) 流行性耳下腺炎(21名) 咽頭結膜熱(20名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(16名)・突発性発疹(16名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は104名です。定点当たり患者報告数は増加しました(3.95名 4.73名)。地域別にみると福井地区7.43名、奥越地区6.5名、坂井地区5.67名、二州地区2.67名、丹南地区2.4名、若狭地区1.0名の順となっています。
- 【ヘルパンギーナ】報告数は55名です。定点当たり患者報告数は増加しました(2.27名 2.50名)。地域別にみると丹南地区6.0名、坂井地区2.33名、若狭・奥越地区1.5名、福井地区1.43名、二州地区0.67名となっています。
- 【流行性耳下腺炎】報告数は21名です。定点当たり患者報告数は減少しました(2.45名 0.95名)。地域別にみると奥越地区2.5名、二州地区2.0名、若狭地区1.0名、丹南地区0.8名、福井地区0.43名、坂井地区0.33名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は20名です。定点当たり患者報告数は増加しました(0.23名 0.91名)。地域別では坂井地区2.67名、奥越地区1.5名、福井地区1.14名、丹南地区0.2名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。  
各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

## 感染症週報全国版の要点

2005年第33週号(8月15日～8月21日)要点

発生動向総覧	<第33週> マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<7月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について <麻疹> 第33週現在における累積報告数は418例であり、昨年を大きく下回っている <腸管出血性大腸菌感染症> 本年第33週までの累積報告数は1,999例である
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年/無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2005年/ヘルパンギーナ患者から検出されているコクサッキーウイルス 2005年/インフルエンザウイルス 2005年第28週(7/11～)以降
速報	仙台市における2005年6～7月のAH1型インフルエンザウイルスの分離・夏季に発生したAH3型インフルエンザウイルスの施設内流行 - 奈良県
海外感染症情報	ルクセンブルクでのハンタウイルス流行/ロシアの鳥インフルエンザ最新版の英語訳がEpiNorthホームページで公開/アンゴラでのマールブルグ病流行/アンゴラでのポリオ流行/インドネシアでのポリオ流行/西アフリカでのコレラ流行/ウエストナイルウイルス活動性
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)	
患者	1名	
主な症状	症状なし	
感染原因・感染経路	調査中	
平成17年	福井県	有症者12人、無症者7人(8月31日現在)
	全国	2,000人(8月21日現在)
平成16年同時期届出累計	有症者22人、無症者11人、全国累計2,096人	

1類感染症:報告はありませんでした。

2類感染症:報告はありませんでした。

4類感染症:報告はありませんでした。

5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成17年 第35週 平成17年8月29日(月)~平成17年9月4日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(34週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)									101 0.02
小児科 (22)	RSウイルス感 染症								1 0.05	28(33週)
	咽頭結膜熱	8 1.14	8 2.67			3 1.5	1 0.2	20 0.91	5 0.23	1208 0.40
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	6 0.86	6 2.00			1 0.5	3 0.6	16 0.73	27 1.23	1308 0.43
	感染性胃腸炎	52 7.43	17 5.67	8 2.67	2 1	13 6.5	12 2.4	104 4.73	87 3.95	7184 2.36
	水痘	2 0.29		1 0.33		1 0.5	6 1.2	10 0.45	28 1.27	1791 0.59
	手足口病	1 0.14					2 0.4	3 0.14	5 0.23	2187 0.72
	伝染性紅斑	1 0.14					1 0.2	2 0.09	2 0.09	598 0.20
	突発性発しん	2 0.29	6 2.00	2 0.67		2 1	4 0.8	16 0.73	10 0.45	2590 0.85
	百日咳									34 0.01
	風しん									21 0.01
	ヘルパンギー ナ	10 1.43	7 2.33	2 0.67	3 1.5	3 1.5	30 6	55 2.50	50 2.27	3526 1.16
	麻しん(成人麻し んを除く)									12 0.00
眼科 (3)	流行性耳下腺 炎	3 0.43	1 0.33	6 2	2 1	5 2.5	4 0.8	21 0.95	54 2.45	3625 1.19
	急性出血性結膜 炎									21 0.03
基幹 (6)	流行性角結膜 炎	2 1.00						2 0.67	4 1.33	847 1.31
	細菌性髄膜炎									2 0.00
	無菌性髄膜炎	1 0.50						1 0.17		24 0.05
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.50						1 0.17	1 0.17	93 0.20
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									3 0.01
成人麻しん									0	

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第33週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成17年第35週 平成17年8月29日(月)～平成17年9月4日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性 鳥インフル エンザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満				3				1			4			6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		1		7	2			10			5			12ヶ月未満								
1歳		1歳		3		16	4	1		5			10	1	1歳									
2歳		2歳		4	1	16	1	2					13	4	2歳									
3歳		3歳		2	1	5	2		1				7	5	3歳									
4歳		4歳		1	6	8	1						8	4	4歳									
5歳		5歳		2	3	10							3	4	5歳									
6歳		6歳		4	1	10							2	1	6歳									
7歳		7歳		1	3	6								1	7歳							1		
8歳		8歳		2		7			1						8歳									
9歳		9歳				1									9歳									
10～14歳		10～14歳				10							1	1	10～14歳									
15～19歳		15～19歳													15～19歳									
20～29歳		20歳以上			1	5							2		20～29歳									
30～39歳															30～39歳					1				
40～49歳															40～49歳		1							
50～59歳															50～59歳		1							
60～69歳															60～69歳									
70～79歳															70歳以上									
80歳以上																								
合計		合計		20	16	104	10	3	2	16			55	21	合計		2		1	1				
前期計		前期計	1	5	27	87	28	5	2	10			50	54	前期計		4				1			
当期間/前期	***	当期間/前期		4	0.59	1.2	0.36	0.6	1	1.6	***	***	1.1	***	0.39	当期間/前期	***	0.5	***	***	1	***	***	
増減数		増減数	-1	15	-11	17	-18	-2		6			5	-33	増減数		-2		1					

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき



[患者数:人]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
福井	2	1	6	2	1	1	1			4	8	2				
坂井	1	1					1		2	4		0				
二州	1											1				
若狭	0											1				
奥越	0											1				
丹南	1	3	1	1						4	1	1				
合計	5	5	7	3	1	2	1	2		12	9	6	33	4		37
前期計	5	6	2	1	1	2		4		13	3	6	16	9		25
当期間/前期		0.83	3.5	3	1	1	***	0.5	***	0.92	3		2.06	0.44	***	1.48
増減数		-1	5	2			1	-2		-1	6		17	-5	0	12

[定点当たり患者数:人/定点]

	STD 定点数	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹 定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
福井	2	1	3	1	1	1	1			2	4	2				
坂井	1	1					1		2	4		0				
二州	1											1				
若狭	0											1				
奥越	0											1				
丹南	1	3	1	1						4	1	1				
合計	5	1	1.4	0.6	0.2	0.4	0.2	0.4	0	2.4	1.8	6	5.5	0.67	0	6.17
全国7月	920	1.5	1.87	0.4	0.56	0.4	0.25	1.16	0.23	3.46	2.91	470	3.77	0.93	0.15	4.85

[年齢階層別患者数:人]

	STD	性器クラミジア		性器ヘルペス		尖形コンジローム		淋菌感染症		合計		基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
0歳														1		1
1歳~4歳													3	2		5
5歳~9歳													1			1
10歳~14歳													2			2
15歳~19歳			1								1					
20歳~24歳		1	1							1	1					
25歳~29歳			1	1		1		1		3	1					
30歳~34歳			2	1			1			1	3		1			1
35歳~39歳			2	1						2	1			1		1
40歳~44歳			1	1						1	1					
45歳~49歳				1				1		2						
50歳~54歳			1							1						
55歳~59歳					1	1				1	1		2			2
60歳~64歳													3			3
65歳~69歳													4			4
70歳以上													17			17
合計		5	7	3	1	2	1	2		12	9		33	4		37
前期計		6	2	1	1	2		4		13	3		16	9		25
当期間/前期		0.83	3.5	3	1	1	***	0.5	***	0.92	3		2.06	0.44	***	1.48
増減数		-1	5	2			1	-2		-1	6		17	-5	0	12

\*\*\*は前期計が 0 のとき